

【設立趣旨書 平成4年10月1日】

県の中央部を流れる相模川の支川である中津川において、現在、洪水調節、水道用水の供給、発電等を目的とする宮ヶ瀬ダム
の建設工事が建設省の手により進められています。

この地域は、豊かな自然に恵まれた丹沢・大山山塊の東部にあり、昔から神奈川県民はもとより首都圏の住民に野外活動や観
光・レクリエーション活動の場として広く親しまれてきました。

今日、わが国の経済社会の発展と成熟化に伴い、人びとの価値観やライフスタイルの多様化、自由時間の増加等が進み、人び
との学習、文化、健康・スポーツに対する関心、とりわけ大自然に対する志向は、これまで以上に高揚し多彩になっています。

こうしたなかで、都心から50kmという至近の地に首都圏最大級のダム貯水池が誕生することは新たな環境資源の創造ともい
え、地域の内外に与えるインパクトは極めて大きいものがあります。

貯水池の誕生を契機に、貯水池と周辺地域の自然環境の保全を図りながら水源地域の振興と人びとの多彩なニーズに応える良
好な地域づくりへの要請が強くなっています。

このような要請に基づき、平成4年4月にこの地域の整備の基本方針ともいべき宮ヶ瀬ダム貯水池周辺地域整備基本計画が
策定されました。

この基本計画では、貯水池周辺地域の新しい地域づくりの基本理念として「人と自然、都市と地域の交流・共存をめざす自然
公園的機能をもった都市近郊リゾート地の形成」を掲げています。

そこで、この基本計画に基づき良好な地域づくりを一体的・計画的に推進するため、企画立案・合意形成の促進、拠点施設の
整備・管理、公共施設等の管理受託、地域情報の提供・活性化の促進、調査研究等について国、県、関係市町村、利水者、民間
等との協力と連携により行う組織として「財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団」を設立するものです。